

2004年1月15日

< 報道資料 >

東北パイオニア株式会社

東北パイオニア、パッシブ型マルチカラー有機ELパネルを開発、量産開始
～パイオニア株式会社の北米向けカーステレオに採用～

東北パイオニア株式会社(本社:山形県天童市 代表取締役社長:山田昭一)は、この度パイオニア株式会社の北米向けカーステレオ4機種ディスプレイ部分としてパッシブ型マルチカラー有機ELパネルの供給を開始いたしました。

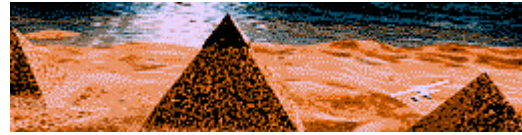
今回供給するパネルは、表示サイズ3.4インチ(1DINサイズ)、ドット数192x(RB)x48で、当社初となるCCP方式(カラー・チェンジング・パネル)採用により、従来のカーステレオ用有機ELパネルのエリアカラー(単色)に比べ表現力が大きく向上しました。CCP方式(別紙参照)とは、一つの画素に2色を塗り分けその組み合わせにより様々な色を再現する方法で、2色の組み合わせにより白色を表現できることが大きな特徴です。今回は青色と橙色の2色を塗りわけたパネルになっており、3色の塗り分け方式に比べ長寿命です。エリアカラーと比べると表現力が高く、フルカラーに比べると長寿命と、2色によるメリットを最大限に生かしたディスプレイです。フルカラーに迫る当社のCCP技術と、パイオニアグループが制作した最適な映像ソフトにより、実用性と表現力を兼ね備えたパネルの商品化に成功しました。

当社は、世界で初めてその量産化に成功して以来、有機EL分野のリーディングカンパニーとして技術開発と製品化の両面から業界の牽引役を果たしてまいりました。カーステレオや携帯電話用としてもこれまでに国内外の有力メーカー製品に採用され高い評価を得ています。これは、有機ELが持つ視認性の高さや発色の美しさに加え、当社が1999年の量産開始から常に高品質の有機ELパネルを出荷・供給してきた実績が高く評価されたものと思われまます。04年3月までには累計出荷枚数が1500万枚を超える見込みで、04年3月期の有機EL事業の売上は130億円を見込んでおります。

当社では、より動画に適したアクティブ型有機ELの量産を04年度中に計画しており、パッシブ型エリアカラー・マルチカラー・フルカラー、アクティブ型フルカラーと様々な方法で市場のニーズに最も適した製品を提案してまいります。

< お問い合わせ先 >

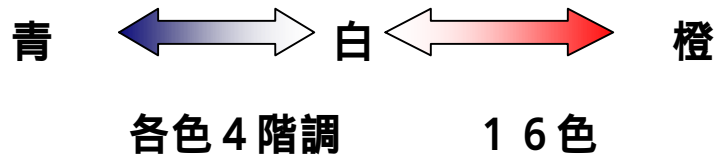
東北パイオニア株式会社 広報部 長沢 : 023-654-9198 Fax: 023-654-9526
< 広報代行 > (株)ブラップジャパン 新井 : 03-3486-6868 Fax: 03-3486-7502



パッシブ型マルチカラー有機ELディスプレイパネル
(1DINサイズ、対角3.4インチ)

CCP (Color Changing Panel) 方式とは

2色(青&橙)の発光輝度可変による多色化



Blue brightness

White = Blue + Orange

